

2年	名	
	組前	



◆百の位に くり上がる たし算

町内の そうじで、アルミかんを 72 本、スチールかんを 63 本 ひろいました。あわせて 何本 ひろったでしょうか。

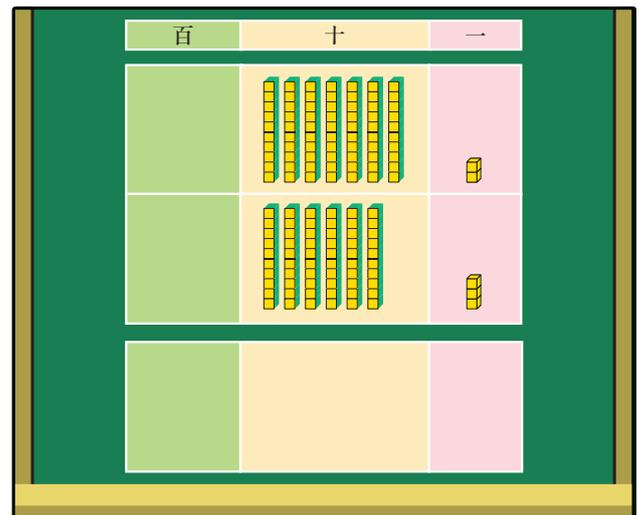
① 式を 書きましょう。

しき 式



② 筆算の しかたを 考えましょう。

ひゃく くらい 百の位	じゅう くらい 十の位	いち くらい 一の位
+		



じゅう くらい  
十の位は  
が 7 + 6 で 13。

と だから…。



- ・一の位は 2 + 3 で 5。
- ・十の位は 7 + 6 で 13。
- ・十の位が 10 より 大きくなったので、百の位に 1 くり上げます。

こた 答え



◆くり上がりが2回あるたし算

83 + 49 の筆算のしかたを考えましょう。

① 一の位は  $3 + 9$  で 12。

一の位には  を書きます。

② 十の位に  くり上げます。

③ 十の位は

$\overset{\text{くり上がり}}{1} + 8 + 4$  で 13。

十の位には  を書きます。

④ 百の位には、十の位からくり上げた  を書きます。

		②
	8	3
+	4	9
④	③	①

◆れんしゅう

①  $76 + 68$

+		

②  $54 + 47$

+		

③  $98 + 5$

+		

④  $655 + 9$

+			

⑤  $827 + 36$

+			

2年	名	
	組前	



◆百の位から くり下がる ひき算

タオルを 125まい 用い<sup>よう</sup>して、53まい くり<sup>り</sup>おわり<sup>り</sup>ました。  
 タオルは 何<sup>なん</sup>まい のこ<sup>こ</sup>って いる<sup>い</sup>る<sup>る</sup>で<sup>で</sup>しょう<sup>う</sup>か。

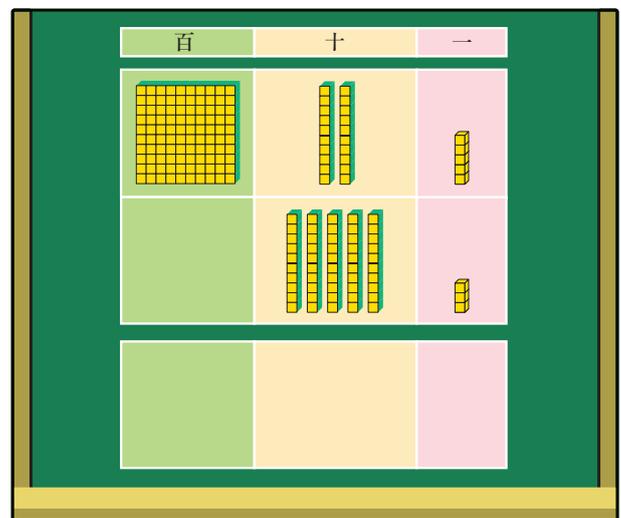
① 式<sup>しき</sup>を <sup>か</sup>書<sup>か</sup>き<sup>ま</sup>し<sup>よ</sup>う。

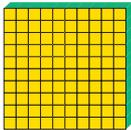
式<sup>しき</sup>

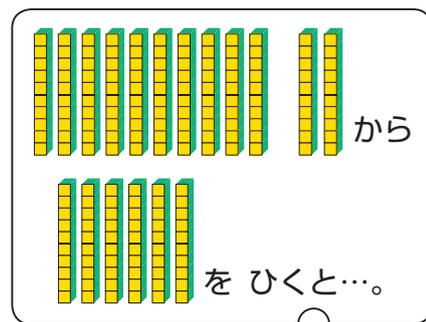


② 筆算<sup>ひっさん</sup>の <sup>しかた</sup>を <sup>かんが</sup>考<sup>かんが</sup>え<sup>ま</sup>し<sup>よ</sup>う。

	ひゃく くらい 百の位	じゅう くらい 十の位	いち くらい 一の位
—			



ひゃく くらい から、じゅう くらい に  
 百の位から、十の位に  
 を <sup>さ</sup>くり<sup>さ</sup>下<sup>さ</sup>げ<sup>て</sup>...



・一の位は 5 - 3 で 2。  
 ・十の位は 2 から 5 は  
 ひけないので、百の位から  
 1 くり下げます。  
<sup>くり下がり</sup>  

$$\begin{array}{r} 1 \\ \hline 12 - 5 \end{array}$$

こたえ

2年	名	
	組前	



◆くり下がりが2回あるひき算

163 - 79 の <sup>ひっさん</sup>筆算のしかたを <sup>かんが</sup>考えましょう。

- ① 一の位は <sup>いち</sup>3 から <sup>くらい</sup>9 は  
ひけないので、<sup>じゅう</sup>十の位から  
1 <sup>さ</sup>くり下げて  - 9 を  
<sup>けいさん</sup>計算します。
- ② 一の位には  を <sup>か</sup>書きます。
- ③ <sup>じゅう</sup>十の位は 1 <sup>さ</sup>くり下げたので  
 になります。
- ④ <sup>じゅう</sup>十の位は 5 から <sup>くらい</sup>7 は  
ひけないので、<sup>ひゃく</sup>百の位から  
1 <sup>さ</sup>くり下げて  - 7 を  
<sup>けいさん</sup>計算します。
- ⑤ <sup>じゅう</sup>十の位には  を <sup>か</sup>書きます。

		<input type="text" value="4"/>	
		<input type="text" value="3"/>	<input type="text" value="1"/>
	1	6	3
-		7	9
		<input type="text" value="5"/>	<input type="text" value="2"/>

◆れんしゅう

- ① 133 - 56      ② 112 - 29      ③ 160 - 96

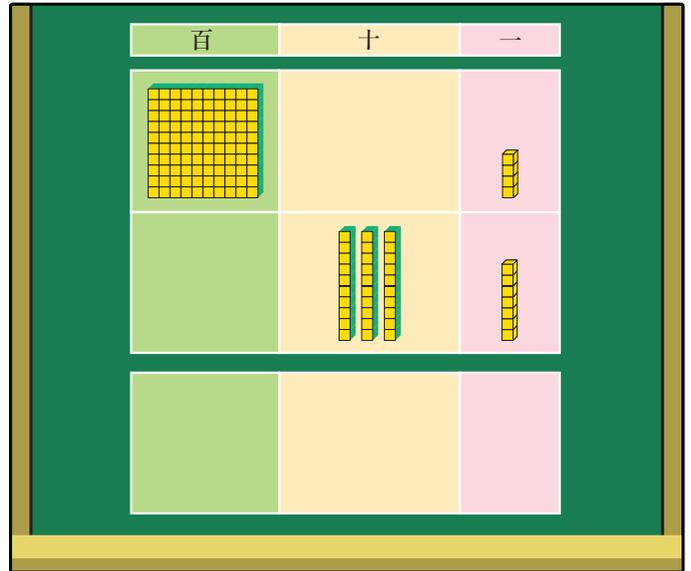
-	-	-



◆ 0のある くり下がり

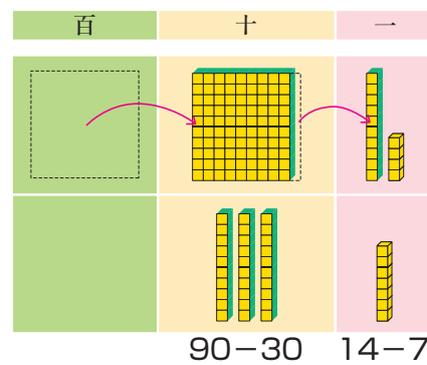
104 - 37 の <sup>ひっさん</sup>筆算のしかたを <sup>かんが</sup>考えましょう。

	1	0	4
-		3	7



<sup>じゅう</sup>十の位から  
1 <sup>さ</sup>くり下げるには…。

<sup>ひゃく</sup>百の位から <sup>さ</sup>くり下げて…。



◆ れんしゅう

① 101 - 83

② 106 - 17

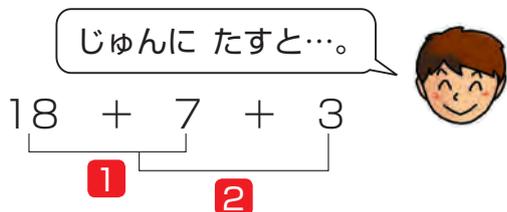
③ 100 - 7

-				-				-			
---	--	--	--	---	--	--	--	---	--	--	--



◆ 3つの数のたし算

つぎの計算のしかたを考えましょう。  $18 + 7 + 3$



①  $18 + 7 =$

②  $25 + 3 =$



①  $7 + 3 =$

②  $18 + 10 =$

あとの2つをまとめて先に計算する考えは、 $18 + (7 + 3)$ とあらわすことができます。

たし算では、前からじゅんにたしても、あとの2つを先にたしても、答えは同じになります。



17人であそんでいました。  
 あとから男の子が6人、女の子が4人来ました。  
 ぜんぶで何人になったでしょうか。

① あとから来た人数をまとめて、( ) を使って式にあらわしましょう。

+ (  +  )

② 答えを求めましょう。

答え